

# くまさんだより

日本基督教団 豊橋東田教会

〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435

公式サイト <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2020年

5月号

5月17日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

## 5月10日 復活節第五主日礼拝説教

「驚くべきこと」武井 恵一牧師

ルカによる福音書5章20～26節 新約聖書110頁

ルカによる福音書5章20～26節

<sup>20</sup>イエスはその人たちの信仰を見て、「人よ、あなたの罪は赦された」と言われた。<sup>21</sup>ところが、律法学者たちやファリサイ派の人々はあれこれと考え始めた。「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほか、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」<sup>22</sup>イエスは、彼らの考えを知って、お答えになった。「何を心の中で考えているのか。<sup>23</sup>『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。<sup>24</sup>人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に、「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われた。<sup>25</sup>その人はすぐさま皆の前で立ち上がり、寝ていた台を取り上げ、神を賛美しながら家に帰って行った。<sup>26</sup>人々は皆大変驚き、神を賛美し始めた。そして、恐れに打たれて、「今日、驚くべきことを見た」と言った。

ペトロの家です。四人の男たちが中風で苦しんでいる人を床にのせて、突然やってきました。既に主イエスがおられる家には大勢の人がつめかけ、部屋は人がいっぱいでは入れません。その男たちの話し声が聞えます。

「たいへんだね！ あのイエス様が来ておられるんなら、癒していただきたいって集まっているんだ。中風のこの人を癒していただくのは中々できないよ。たいへんさあ。」  
「あんた方も聞いた？」



カファルナウムの町では、イエス様がどんなお医者さんだってどうにもできなかったとんでもない重い皮膚病さえ、完全に癒されたって聞いたよ、・・・中風のじいさんはイエス様にお願ひするしか望みがないものなあ。」

彼らは入り口にいる人々に挨拶すると、驚いたことに、家の外壁に付いている階段から屋根に上り始めました。男たちは近所の弱り切った中風の人を床に乗せて運んできたのです。中風にかかった病人と思われる苦しみの声が、わずかに聞こえます。屋上では男たちが中風の人を下におろすため、屋根をはがし始めました。下の部屋に人がいるので乱暴にはできません。



男たちは、重い皮膚病をも癒された奇跡を、重い中風を患って苦しんでいる人にも願っていただきたい、と心から願っていたことでしょう。その願いは、部屋の中で、一心に主イエスを見ている人たちと同じです。人々は病気を癒される主イエスを、神様からの救い主メシアではないかと期待し見守っています。イザヤ書に預言されているメシアを人々は長いこと待ち望んでいたのです。

しかし、その家の部屋で、イエス様が教えを話されていた時、既にファリサイ派と律法の教師たちが座っていました。ガリラヤとユダヤのすべての村からだけでなく、エルサレムからも来ていました。エルサレム神殿の上層部が動き、派遣したと考えられます。彼らは、主イエスが民を惑わし、神様を冒瀆する者ではないか、という非常に強い疑いを持ち、それを確かめに來ていたのです。

神殿に属する豊かな祭司や学者は、いけにえを神様に捧げ、神様と和解し、罪を贖っていたことを礼拝の最も大切なことと信じていました。自分たち祭司こそがエルサレム神殿を守り、ハトやウサギ、大きな牡牛をもいけにえとして神様に捧げている、とプライドを持っていました。また、律法学者は自分たちこそ、律法に精通し、守っていると自負していました。



彼らは、自分たちこそ「神様の民でありその中心にいる」と自認し、律法を守れない人々を裁きながら豊かな暮らしをし、ローマ帝国の支配のもとで、一般の貧しい人々を経済的にも、宗教的にも支配していました。当時のユダヤは神殿を守る祭司中心の社会です。多くの人々はローマ帝国の圧政に苦しんでいただけでなく、宗教的指導者からも律法を守れない罪ある者として裁かれていたのです。ですから救い主メシアを心から待ち望んでいたのです。

このような状況ですから、メシアの出現は、エルサレム神殿勢力をゆるがす敵と見なされました。

彼らは、主イエスが、集まった人々に福音を話されているのを注意深く聞き、病人を癒されているのを目の当たりにしました。主イエスは、「主の力」＝「聖霊の力」が働いて、病気を癒しています。その主イエスの真ん前に、屋根をはがした男たちが、中風の人を床ごとつり降ろしたのです。

#### ルカによる福音書5章20～21節

<sup>20</sup>イエスはその人たちの信仰を見て、「人よ、あなたの罪は赦された」と言われた。<sup>21</sup>ところが、律法学者たちやファリサイ派の人々はあれこれと考え始めた。「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほかには、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」

当時のユダヤの社会では、罪を赦すのは神様であり、病気になった場合、その人が罪を犯したからだと固く信じられていました。病気は罪の結果と信じられていたのです。病人は、罪意識を持っていました。ですから、主イエスはまずその中風の人に罪が赦されたことを宣言しました。ところが、「あなたの罪はゆるされた」という言葉は、いけにえの礼拝を大切にし、罪を赦すことのできるのは、神様だけであると信じている神殿祭司とは、真っ向から対立する言葉です。罪を赦す権威を持つのは、神様であるのに、このイエスという人が罪を赦すというの

は神を冒瀆する行為だと考えたのです。

律法学者たちやファリサイ派の人々は、荒野のヨハネ以来各地に広まっている預言者イザヤによるメシア預言が実現され、「イエスこそ、預言されたメシアに違いない」という人々の声を無視できず、メシアとして受け入れるかどうかの岐路に立されていました。

そのような彼らの考えを知って、イエスはさらに、「人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」とはっきり言われ、中風の人に向かっては、「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われました。一同の見守る中で、中風の方は、すぐさま、立ち上がり、神様を賛美し帰って行きました。

#### ルカによる福音書5章26節

**26人々は皆大変驚き、神を賛美し始めた。そして、恐れに打たれて、「今日、驚くべきことを見た」と言った。**

この「恐れ」は、敬意からの近寄りたさを表わす「畏れ」ではなく「恐れ」です。一体何がおきているのか、という気持ちからくる「恐れ」です。

思いもよらないことにどのような医療器具も、薬も、祭司的しぐささえ用いられず、さっきまで病に苦しめられた人が健康な人に復帰しました。「あなたの罪は赦された」という主イエ

スの言葉によってです。それを目の前で見た人は、その身体の変化を、「驚くべきことを見た」としか言えません。主イエスの罪の赦しによる癒しを目撃した人々がどれほど大きな「驚き」に直面したか、「驚くべき」の言葉が示しています。そう表現するしかなかった、それに値すると言う意味で「べき」が用いられています。神様にしかできない罪の赦しを主イエスがなされたことは、驚きとしかいいようがなかったのです。「あなたの罪は赦された」の言葉による癒しは、まさに「驚くべきこと」と恐れを持って実感されたのでした。

主イエスの「あなたの罪は赦された」という宣言により、罪を赦された病人は、台から起き上がり、神を賛美しました。私達も、主イエスにより既に罪を赦されています。「今日、驚くべきことを見た」という言葉の、「今日」は歴史を超えて現実感を持って迫ってきます。驚くべきことは、今、この礼拝の場にいる私達にも起こっています。罪を赦された者として、それぞれの場で、神を賛美してまいりましょう。

祈り 讚美歌(21) 377 「神はわが岩」

聖書の言葉はすべて以下から引用しています。  
 聖書 新共同訳：  
 (c) 共同訳聖書実行委員会  
 Executive Committee of The Common Bible Translation  
 (c) 日本聖書協会  
 Japan Bible Society, Tokyo 1987, 1988

新型コロナウイルスへの対応(愛知県独自の緊急事態宣言が5月末まで継続しています。)

聖餐式、こどもの教会の礼拝、木曜会は緊急事態宣言が出されている間は休止します。

6月7日の長老会で緊急事態終了後の対応について協議する予定です。

#### 礼拝出席時の注意

緊急事態宣言が出ている間は、礼拝出席時にマスクを着用して下さい。

マスクの需要が急増し入手が困難となっておりますので、自作の布マスクで構いません。

市販の一般的な花粉(2~4μm)に対応したマスクではウイルス(0.02~0.1μm)は防げません。

咳などで出る飛沫(5μm)拡散には有効ですが、体調が悪い場合には自宅で休んで下さい。

飛沫感染を防ぐために礼拝堂内ではマスクを着用すると共に互いに離れて着席して下さい。

#### お願い

この様な状況下で働いておられる医療従事者や介護、保育、生活に必要な様々な業務についておられる方を神様が守って下さることを祈って下さい。